

第2回 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画策定市民会議

開催日時	令和5年9月28日(木) 15時00分開会～16時40分閉会		
開催場所	徳島市役所 8階 庁議室		
委員出席者	○江口 久美子 ○林 徳太郎 ○糸林 代々木 ○一楽 記代 ○名山 優 ○坂口 敏司 ○木村 洋一郎 ○藤田 稔夫 ○森吉 雅史 ○石元 康仁 ○三橋 一巳 ○井後 浩二 ○濱田 さくら ○杉浦 良 ○熊井 勇 ○中川 美佐 ○圓井 美貴子 <div style="text-align: right;">以上 17名</div>		
委員欠席者	○稲田 憲弘 ○井上 秀之 ○来島 努 ○仁木 幸 ○後藤 真美 ○港 博義 <div style="text-align: right;">以上 6名</div>		
公開状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	傍聴者	0名
議事(次第)	1 開会 2 議事 (1) アンケート調査結果について (2) 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画の骨子案について (3) その他 3 閉会		
配付資料	資料1 アンケート調査結果(抜粋)について 資料2 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画の骨子案		

議事の経過	
開会	
発言者	内容
事務局	省略
議事(1) アンケート調査結果について	
発言者	内容
会長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議事1 アンケート調査結果について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料1について説明
会長	<p>詳細なご説明をありがとうございました。</p> <p>アンケート調査データの詳細な分析を踏まえて、それを反映したうえで基本目標の1から4を設定しているというご説明でした。</p> <p>基本目標の1から4については、最後のほうのページにある部分です。アンケート調査のデータを踏まえて、基本目標1から、19ページから記載されています。</p> <p>まず、皆さん方のご意見をいただく前に、ただいまの説明をお聞きして、ご質問や確認しておきたいことはありますか。</p>
A委員	障害児へのアンケートということで、100名が対象になっていますが、これは児本人が対象なのですか。それとも保護者の方ということですか。
事務局	障害児については、保護者の方にお答えいただいております。
会長	<p>ほかにごございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは私から1点お願いします。</p> <p>このアンケート調査を配布されるときに、回収状況を見させてもらいました。前回の調査時とほとんど同程度、35%ぐらいということでした。郵送による配布、回収ということで、無作為抽出した市民の方と、手帳所持者の方を抽出したと思いますが、アンケート調査を実施しますといった広報はされたのでしょうか。</p>
事務局	アンケート調査の実施については、徳島市ホームページと広報とくしまで広報させていただきます。
会長	<p>市のホームページと広報紙で広報した上で郵送ということですね。</p> <p>回収率が35%、そんなものなんですかね。回答くださった方の結果としては、社会参加に消極的ということが出てきていますが、まあ前回と回収率が同じぐらいというのは、そんなものかとも思うし、いただいた回答を基にやっていくのがベストかと思います。</p>
B委員	回収率について、市民の方の回収率が27.2%ということですが、これは前回調査ではどれぐらいだったのでしょうか。
事務局	前回調査での市民の方の回収率は31.4%でした。
会長	大差はないですね、やはり3割ぐらい。

	ほかに確認事項はございますか。
C委員	6ページの災害時の避難等についてですが、災害時における要支援者の個別避難計画については、徳島市は現在どれぐらいできていますか。それを受けてのこの結果なんですか。
会長	個別避難計画というのは、障害のある方お一人お一人の避難計画ですか。
C委員	たしかそのようなものを作ろうになっていたと思います。
事務局	申し訳ございませんが、担当部署が別の課になっておりまして、数字等は把握しておりませんが、対象者が約7,000人でございます。
B委員	まだ、なかなかできていない状況ですね。
会長	避難計画については、市の危機管理の部署がされているという認識でよろしいでしょうか。
事務局	災害時の要支援者の避難計画につきましては、介護4・5のベース等その他で抽出した数が7,000ということで考えさせてもらっています。 今回のこのアンケートについては別と考えていただいたほうがよろしいかと思えます。
会長	ほかにいかがですか。大丈夫ですか。 それでは、次に、アンケート結果を踏まえて立てた基本目標に入っているのでしょうか。
副会長	少しよろしいですか。今回、アンケート調査をしていただくということで、私は非常に期待をしておりました。私は身体障害者連合会の運営に関わっておりますので、アンケート結果を参考にして色々と有意義なことを汲み取ることができるわけです。今回示されているアンケート結果はごく一部だけなので、この際に質問させてください。 まず、障害者用アンケートの、「障害者団体の認知度」について、「知っている」、「知らない」の回答が、それぞれ何%ぐらいだったのですか。
事務局	障害者を対象とした調査の「障害者団体の認知度」については、「知っている」が20.6%、「知らない」が76%、無回答が3.4%でした。
副会長	「知っている障害者団体名をお答えください」という問は、前回調査時と質問項目を変えたと思います。どのように変えたか、そののところをもう一度確認したいと思います。
事務局	障害者対象の調査で「知っている障害者団体名をお答えください」という問がありますが、前回調査時は選択肢がございませんでしたが、さきの市民会議で御意見をいただきましたので、選択肢として障害者団体を3か所、「徳島市身体障害者連合会」、「徳島市手をつなぐ親の会」、「徳島市精神保健福祉会」、そして「その他」ということで自由記載の欄を入れさせていただいております。
副会長	その結果はどうなっていますか。徳島市身体障害者連合会は何%になっていますか。
事務局	知っている障害者団体名で、「徳島市身体障害者連合会」が41.1%、「徳島市手をつなぐ親の会」が32.9%、「徳島市精神保健福祉会」が15.1%、

	「その他」が21.9%、無回答が6.8%でございました。
副会長	それから、「あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか」という問に対する回答のパーセンテージを教えてください。
事務局	平日の日中の過ごし方につきましては、一番多いのが「自宅で過ごしている」の35.3%、次に多いのが「収入を得る仕事をしている（会社勤めや自営業など）」が17.8%。3番目が「福祉施設、作業所などに通っている」が16.1%、続きまして「入所している施設や病院などで過ごしている」が8.8%。次に「専業主婦（夫）をしている」が6.5%。次に「病院などのデイケアに通っている」が6.2%。「リハビリテーション施設に通っている」が3.7%。「収入を得ない仕事をしている（ボランティアなど）」が0.8%でございます。
副会長	「収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか」という問はどうなっていますか。
事務局	職業訓練の意向については、「職業訓練を受けたい」が33.9%、「職業訓練を受けたくない」が14.5%。「職業訓練を受けたいが、受ける状況にない」が38.7%。「既に職業訓練を受けている」が11.3%でございます。
副会長	それから、「障害者の就労支援として、どのような質問が必要と思いますか」という質問はどうなっていますか。
事務局	就労支援に必要なことにつきましては、一番多いのが「職場の上司や同僚に障害者への理解があること」が51.4%。次に多いのが「具合が悪くなったときに気軽に通院できること」が40.7%。次に多いのが「短時間勤務や勤務日数の配慮」が40.4%。「通勤手段の確保」が33.6%。「仕事についての職場外での相談対応・支援」が28.2%でございます。
副会長	あと、「相談相手について」なのですが、「あなたは暮らしの中でどのような悩み事や困ったことがありますか」という問はどうなっていますか。
事務局	暮らしの中で悩みや困っていることにつきましては、一番多かったのが「経済的なこと」が42.1%。「将来の援助・介護のこと」が39.3%。「医療のこと」が20.6%。「趣味や生きがいを持つこと」が17.8%。「友人や相談相手を持つこと」が15.5%。「家庭生活のこと」が14.7%でございます。
副会長	次に、「あなたは普段悩みや困ったことをどなたに相談しますか」というのはどうなっていますか。
事務局	悩みや困ったときの相談先につきましては、「家族や親戚」が62.1%。「かかりつけの医師や看護師」が25.4%でございます。
副会長	こうして聞いていくと時間がかかるので、後でパーセンテージだけ入れていただけませんか。
事務局	分かりました。
副会長	分析はこちらでしますので、必要ありません。
会長	要するに、アンケート調査の生のデータの提供をお願いしたいということでしょうか。
副会長	はい。

B委員	<p>少しよろしいですか。ホームページや広報紙でアンケート実施の告知をされたということですが、市民の方へのフィードバックはどのように考えていますか。正直、前回調査よりもボランティアの参加希望者が減っているなど、今、ご説明いただいた結果を聞いて、私は非常に苦しくなりました。</p> <p>そこで、結果はやはり現実のこととして、市民の皆さんにもこういう状況であることを知ってもらい、その結果を皆さんはどう考えましたかという投げかけというか、考えるきっかけを作るべきではないかと思います。</p> <p>私たちは当事者団体ですが、当事者団体の活動の在り方を見直していく必要もあるかと思ひますし、魅力的な活動をしていくことや、一般の方が参加しやすい形を作っていく、あるいは一般の方が企画している中に障害のある人が入っていける環境をどんどん作っていくなど、そうしたことを今後実践していかないとはいけないと思うので、この結果をどのように生かしていくのかなと思っています。</p> <p>計画を、基本目標を立てるのはもちろんこれでいいと思いますが、それを市民の方と共有するにはどうしたらいいかというのが重要だと思います。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>事務局において、何かご予定やお考えがございましたらお願いします。</p>
事務局	<p>アンケートの結果につきましては、障害者計画・障害福祉計画を策定する中で作成する計画冊子の一番後ろに統計資料として掲載するとともに、ホームページでも公開させていただくことを考えております。</p>
会長	<p>最終、まとまったときに、データも合わせた形で公開するということですかね。それを受けて各団体の方や市民にも色々考えていただくということでもよろしいでしょうかね。</p> <p>やはり、元々が3割から4割の回答率で、障害者団体を知っていますという方は、その3割・4割のうちのまだ3割・4割・2割ということでした。もっと市民の方々などに団体の存在を知ってもらいたいと思います。</p> <p>まだコロナ禍もありますが、市民の方々にもようやく日常が戻ってきつつあるので、活動が活発になるような手立てを各団体においても工夫して考えていかなければいけないなというふうに、つくづく思いました。</p> <p>ほかに、ご意見がありましたらどうぞ。</p>
副会長	<p>市のホームページを市民がどれだけ見ているかということの調査などはあります。閲覧回数についてなど。</p>
事務局	<p>アクセス数などはたしか公表されていたと思いますが、市民の何割に当たるかまでは今は把握しておりません。</p>
副会長	<p>私は、ホームページを見る人は非常に少ないのではないかと考えていますので、ホームページに載せたから終わりだというのはどうかと思います。ホームページは一つの手段というぐらいに考えないといけないと思います。私はたまたま調べることがあるので見る機会がありますが、私の周辺ではそれほど見ていないように思います。</p>
会長	<p>例えば、何かアイディア的なことはございますか。ホームページ以外に、こんな方法であればもっと広報が可能なのではないかとといったものは。</p>

副会長	<p>広報の難しさというのは、そこにあると思います。情報が欲しいと思う人には情報が通るけれども、それ以外の人には情報がなかなか通らない。変な話ですけども、ナチスがあれだけ伸びたというのは、あれは広報によるものですよ。後々それを政治学の分野で色々研究されていますけれども、大きなビルの上からナチスの旗を降ろしたり、国民の目に触れるようにPRしていく。今はもうテレビの時代ですから、何かそのような方向で、私は思いつかないので、頭の柔軟な方に考えていただければと思いますが、かなり難しいかとは思いますが。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>結局、情報が届かないために必要な支援・サービスが利用できないというような回答に行きつきますよね。情報が分からないために参加が難しいとか、知らなかったとかがあるかもしれない。市の計画ももちろんですが、団体においてもそのあたりをどう工夫すれば、どのような方法を使えば必要な情報を届けられるのかということを考えていかなければならない。この結果を見ると、やはり再考する必要があると思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>実は私、ここまで情報が届かないとは思っていませんでした。今、市のホームページを見る人が少ないという話がありましたが、見る人は見るし、見ない人は見ないとなってしまうように思います。しかし、市が発信するとしたら結局は紙媒体の広報やホームページ、先ほどはテレビという話もございましたが、何かメディアを使ってという形しか私には思いつかないですが、確かに非常に難しい問題だと思います。必要だと思うときに初めて見るということで、必要性を感じないときは、情報が流れていても見るほうがキャッチできない、そういうミスマッチもあると思います。情報は流れているけど、今、私にとって必要ではないので、ずっと素通りしてしまう。そうしたことで、情報が届いていない可能性もあると思います。団体においても、身近なところで情報が行きわたる工夫ができればいいようにも思います。</p> <p>まず一つはこの情報アクセシビリティの問題ですね。情報が行きわたらないために社会参加の促進が難しいというような結果ですね。</p>
D委員	<p>4ページの問34に、情報の入手方法についての設問がありますが、何をもとに入手していますかという問はなかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>障害者を対象とした調査の問33で「障害や福祉サービスに関する情報入手先」という設問がございまして、そちらの回答で一番多かったのが、「テレビやラジオのニュース」が31.9%。次に多かったのが「本や新聞・雑誌の記事」が30.5%。次が「家族や親戚、友人・知人から」が25.4%という結果になっております。</p>
会長	<p>市政情報をケーブルテレビで流していたかと思いますが、そのあたりはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>今、ご意見をいただいたテレビ等の広報についても、色々な方法で障害者の方に情報が行き渡るよう、計画を策定する中で考えていきたいと思っております。</p>
E委員	<p>例えば、自立訓練事業所に入所している人や通所している人限定になると思いますが、そうしたところに個々に通知を出して伝えてもらうなり、ポスターを</p>

	<p>送って貼ってもらうという方法もあるかと思います。</p> <p>実際、私もこの仕事をしていなければ、市のホームページは多分見ないと思います。仕事をしているから調べることもあるし、書式をダウンロードするときなどにホームページを見ますが、多分、こういう仕事をしていなかったらほとんど見ることはないと思います。</p> <p>若い人であれば、今はスマホが普及していますから、例えば県の災害のアカウント。私も登録していて、頻繁に通知がLINEで来ます。そこで、LINEでそうしたアカウントを作るとか、インスタグラムとか、登録さえしておけば自動的に個人に飛ぶような情報源も活用していけないのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのあたりも踏まえて、また工夫されてはどうでしょうか。</p>
D委員	<p>ちなみに、先ほどの情報の入手先の項目に、相談員という項目はありますか。</p>
事務局	<p>回答の中に「サービス事業所の人や施設職員」という項目がございまして、それが21.8%となっております。</p>
D委員	<p>それでは、相談員などもここに入るのですか。</p>
事務局	<p>相談支援事業所などの民間の相談窓口という項目がございまして、そちらが6.2%でございます。</p>
D委員	<p>6.2%、それは少ないように思いますね。障害福祉サービスに関する方法であれば、相談員が多くウェイトを占めているかと思ったのですが。</p>
B委員	<p>そもそもこの情報というのが、障害福祉サービスに関する情報ということなのか、あるいはイベントとかの一般的な情報であれば恐らくテレビやラジオなどからたくさん入手されると思うので、ちょっと疑問が残りますね。</p>
会長	<p>捉え方によって違いますね。</p>
B委員	<p>そうですね。福祉サービスに関してはやはり事業所等であったり、もちろん相談員もついていると思います。私もそうですが、困ったことがあればまずは相談員に聞くのが一番大きいのではないかと思います。</p> <p>そうすると、相談員がどれだけ情報を持っているのかが課題になってくるので、そこをもっと厚くしていくとか、情報網を当てていくとか、ネットワークを作っていくことが必要なのかなと思います。</p>
会長	<p>そうですね。人を拠点にして、人から人へ伝えていくのはすごく大事ですね。</p>
B委員	<p>そうですね。困ったときということが設問にもあります。困ったときはネットで検索して探すこともあると思いますが、実際は専門家や身近な人を通じて聞くことが多いのではないかと思います。</p> <p>あと、私も市のホームページはほとんど見ていません。ただ、広報紙は皆さん見られているのではないかという気がしています。最近は広報紙にQRコードが付いていて、そこから簡単にスマホでアクセスできるということがあるので、できるだけあの広報紙を活用して、例えば障害者計画ができました、こちらからご覧になれますというように、QRコードで見ることができるようにする。そうすれば、そんなに場所を取るわけではないので、色々な情報をそこに網羅していくというような工夫もあっていいのかなと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>データにQRコードでアクセスというのも今の時代にマッチした一つの方法であるし、各障害者団体でそういうことを広めていく、人から人へ伝えていくことが大事だと思います。</p> <p>少しご意見をいただきたいのですが、情報が届かないために、地域社会への参加が消極的になってきているということについて、どうしたらいいのか。計画に反映させるために、何かご意見をいただければと思いますが、いかがですか。</p> <p>社会参加というのは大事ですよ。地域に出て、地域の人たちと一緒に、周りとか何かをするのはすごく大事だと思います。</p> <p>私は、やはり人だと思います。例えば、運動会があります、こんなイベントがありますというときに、やはり皆さん誘い合いをしますよね。「今度行くの?」とか「迎えに行こうか?」とか、「あなたが行くのなら私も行こうかな」みたいな感じで、結構人と人の繋がりを通して誘い合って参加するという形が非常に大事なような気がします。そのあたりの繋がり、やはり地域なり団体あたりがどうするのかだろうと思いますし、それに対して市がどうサポートしていくのかというのが大事だと思います。</p> <p>資料に書かれているように、障害者の社会参加の促進という大きな基本目標を実現するために、具体的にどうしたらいいかというのを、やはりこれは市だけではなく、皆さん一人一人、あるいは障害のある方も含めて、市民が考えていかなければいけないことだと思いました。</p>
<p>F 委員</p>	<p>広報紙を見ている人が結構少ないと思います。私は阿南市に住んでおり、阿南市にもそういう広報はありますが、読む時間がなくて、あまり読んでいません。</p> <p>徳島市の情報は広報紙でたくさん紹介されているので、まずは広報紙を読みましようということでPRしていただいたらいいのではないかと思います。もしテレビを使うのであれば、四国放送などのテレビで宣伝してはどうでしょうか。大事なことでも、実際に広報紙を読んでいなければ全然伝わらないので、広報紙をしっかりと読むということをPRしていったらどうでしょうか。結局、情報収集にはテレビや新聞を使う人が多いと思いますので、テレビを使うのであれば、具体的なことをテレビで言うよりも、広報紙を読もうということを啓発していくという方法もあるのではないかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>阿南市では何か工夫されているようなことはありますか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>例えば助成金の件など、色々書かれています、読んでいなければ分からないままになっていることも多いと思います。</p> <p>私もあまり読む時間がなくて読んでいないのですが、しっかりと読めば結構重要な情報が入っていると思います。ただ、それを読む習慣がなければ読まないと思います。やはり、広報紙を読むという意識を持ってもらうことが必要だと思います。せつかくお金を使って広報紙を出しているわけなので、読んでもらいたいと思いますし、それがまず必要なことだと思います。広報紙を読まない、実際の市の動きなどが入ってきませんので、読むきっかけを作れるよう、呼びかけてみてはどうでしょうか。</p>

G委員	<p>最近、テレビを見るのであればユーチューブを見る、ニュースはLINEニュースで充分だということで、テレビを見ない、新聞も取らないという世帯が増えてきています。私の子供も、誰も新聞を取っていません。</p> <p>昔は、新聞を取ると折込チラシが入っているので、主婦の方がチラシを見るために新聞を取っていましたが、最近新聞もLINEやフェイスブックを活用するなど、メディアも変わってきています。例えば徳島市のホームページであれば、私は入札の指名願の前ぐらいしか見ていません。メディアも今のような状態に変わってきていますので、新しいものをどんどん取り入れて色々な形で広報をしていく必要があると思います。</p> <p>また、画像で見たものはなかなか頭に残らなくて、やはり最終的には紙で見たものが頭に残りますので、あくまでも情報発信として活用し、もっと深く知りたい方は紙媒体でということで、その紙媒体をどこでも閲覧できるような方法を考えていただけたらいいかと思います。</p>
会長	新聞購読者も、今はすごく減っていますよね。
H委員	<p>困ったときの相談体制についてですが、困ったときに市に言えば弁護士を紹介してくれるとか、こういうところに行ったほうがいいとか、例えば家庭裁判所へ行ったほうがいいとか、銀行の上の人と話してくれるとか、そういった相談体制はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>様々な相談があるかと思いますが。障害福祉課でも一般的な相談は何っておりますし、必要があれば関係機関にお繋ぎしております。消費生活センターや市の機関においても色々な相談窓口がございますので、しかるべき所と連携を図りながら相談に乗らせていただいております。</p>
副会長	<p>私は身体障害者相談員をしておりますが、そのような相談が実際に来ます。その場合は、私の知り合いの弁護士に紹介したり、無料相談があるというような情報を提供しております。</p>
H委員	<p>私どもの団体でも、弁護士を探したり、行政書士を探したり、色々しましたが、市が紹介してくれれば、障害者も得心してくれるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>法律のことでしたら、法テラスであれば無料で相談等も受けていただけたと思いますので、また連絡先が必要なようでしたらお伝えいたします。</p>
B委員	<p>先ほど会長からお話のあった社会参加についてですが、やはり一つはアクセシビリティの充実という点で、そこを理解しようということ、それと、情報保障ができていて、例えば手話通訳の配置など、色々な方がイベント等に参加しても大丈夫な環境を整えていくということが必要だと思います。そこで、市から地域のイベントに対して、イベントを開催する上で、ぜひこういう配慮をくださいというような、色々な方が参加できるようにするためのマニュアルを作って提供していただきたいと思います。</p> <p>それと、最近災害関係の不安が非常に大きくなっていますので、地域で実施される防災訓練に障害者が必ず参加できるような働きかけをしてもらいたいというのはすごく切実に感じています。テレビ等で防災訓練、避難訓練をしたというニュースを見ても、車いすの人が参加しているような様子はなく、元気な方々</p>

	<p>が急いで階段を上って避難しているような様子ばかりが目につきますが、災害時に避難が困難なお年寄りの方や重度の障害のある方も地域にはいらっしゃると思うので、そういう方も含めた避難訓練、防災ということをキーワードにして、地域の中で色々な方が参加する場を作っていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のご発言は、基本目標4「生活環境の整備について」の、防災・災害時についてのご意見だと思います。</p> <p>市においては、危機管理をしている部門と障害の部門などが連携・協働し、各自治会が主体になって、市民が避難できるような取組をさらに広げていければ、市の部門ごとで連携し、それを自治会のほうへおろしていければということですね。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今回、障害者計画を立てる上で、市役所内各課からも色々な意見を募って連携を図り、策定を行います。</p> <p>その中で、いただいたご意見を反映できるように、関係各課と連携して計画に落とし込んでいければと考えております。</p>
議事(2) 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画の骨子案について	
発言者	内容
会長	<p>時間も押してまいりましたので、議事(2)骨子案について、お願いできますか。</p>
事務局	<p>資料2について説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の市民会議で計画素案をご提示いただけるということですが、今の骨子案に対して、修正等の意見がございましたら、どうぞお願いします。</p>
I 委員	<p>修正というわけではないのですが、18ページの基本目標4「障害者が暮らしやすい環境づくり」の中に、生活環境のユニバーサルデザイン化の推進、住宅・建築物等のバリアフリー化の推進とあります。そのほか、資料1の17ページのアンケートでは、ユニバーサルデザインの推進とあり、あと、資料1の基本目標4にはバリアフリー化というのがありますが、この使い分けをどのようにされているのかを教えてくださいたいと思います。全部ユニバーサルデザインでもいいようにも思いましたが、何か使い分けがあるのであれば教えてください。</p>
会長	<p>ユニバーサルデザインとバリアフリー化の使い分けということですか。</p>
I 委員	<p>はい。全部ユニバーサルデザインでもいいのではないかなという気もします。何か法律的な部分や、あるいはここは強調したいのでバリアフリーにしているというようなことがあれば、教えていただければと思います。すぐに回答が難しければ次回の市民会議でも結構です。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ユニバーサルデザインとバリアフリーの言葉の使い方について、もう一度確認させていただいた上で、統一すべきところは統一させていただこうと考えております。次回、また素案の段階でお示しできるかと考えておりますので、よろしく</p>

	お願いいたします。
会長	ほかの項目でいかがですか。
J 委員	<p>私は、今年の3月に足の指を骨折したこともあって、社会福祉協議会に車いすを借りに行きました。ところが、車いすは5台しかなく、それもブレーキのない、ただの押すだけの車いすだったので、それでは危なくてどうにもなりませんでした。</p> <p>予期せぬけがや病気などで、一時的に車いすが必要になった方や、または、学校や企業での福祉教育はもちろん、イベントや講習会などで来場者用に用意するのに必要に応じて貸出をしていくという方針ではどうでしょうか。</p> <p>車いすイコール障害者とは限りません。ノーマライゼーションとは、高齢者や障害の有無にかかわらず、健常者と同等の存在と捉え、皆同じ生活や権利などが保障された環境を作っていく考え方を指します。このことから、現代の福祉政策の根本理念となっています。</p> <p>よって、この件について検討していただきたく思います。</p>
G 委員	<p>3章の障害者計画施策体系について、4つの基本目標があって、それぞれの施策が書かれていますが、最後の23ページに載っている令和8年度の成果目標とこの施策があまりリンクしていないような印象を受けました。</p> <p>例えば、住宅・建築物等のバリアフリー化の推進という施策を掲げていますが、成果目標にはバリアフリー化をどの程度進めるといことが全く書かれていません。これは、施策には掲げるが、成果目標には掲げないという解釈でよろしいでしょうか。何か絵に描いた餅のような気がして、目標がないところでいくら書いても仕方がないようにも感じました。</p>
会長	施策体系と、その成果目標が対になっていないということですかね。そういう意味で、事務局からご説明をお願いします。
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>17ページの4つの基本目標につきましては、障害者計画の基本目標でありまして、次の18ページのほうに施策体系として細かく載せております。次の素案を作成する段階で、それぞれの施策につきまして、1点1点、どういう方針で施策を展開していくかという部分を述べさせていただく形になります。</p> <p>成果目標とマッチしないということについてですが、資料の後ろに掲載している成果目標は、障害福祉サービス等についての施策の目標や見込みを立てるものでございますので、別の計画のものになっております。あくまで、後ろの成果目標の部分については、障害福祉サービス等をベースに目標を立てていくものでございます。</p> <p>4つの基本目標については、次の素案を作成する段階で、どういった施策を展開していくかという部分も含めて策定させていただく予定としております。次回の市民会議において、素案としてご説明する予定としております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>恐らく、この議論が次回の市民会議で示される計画素案にも繋がっていくかと思えます。引き続き次回に議論をしていきたいと思えます。</p>

議事(3) その他	
発言者	内容
会長	<p>まだまだご意見をいただきたいところですが、時間も参りましたので、このあたりでよろしいでしょうか。ぜひともおっしゃる方がいらっしゃいましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p>
閉会	
発言者	内容
会長	<p>申し訳ありません。進行の不便で、少し積み残しがあったような気もしますが、いったん、本日の策定市民会議はこれで終了させていただきます。</p> <p>最後に、次回の開催予定について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日は貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>次回の開催につきましては、10月下旬頃を予定しております。</p> <p>その中で、本日いただいたご意見を踏まえた上で、「計画素案」を作成し、御協議いただく予定としております。</p> <p>詳しい日時等につきましては、後日、開催通知でご連絡させていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>本日も、長時間にわたり、どうもありがとうございました。本日の市民会議はこれもちまして終了させていただきます。ありがとうございました。</p>